



平成 30 年 8 月 9 日
ペプチドリーム株式会社
<http://www.peptidream.com/>
(証券コード：4587 東証第一部)

モジュラス株式会社への出資に関するお知らせ

ペプチドリーム株式会社（代表取締役社長 リード・パトリック、本社：神奈川県川崎市、東証第一部）は平成 30 年 8 月 9 日開催の当社取締役会において、モジュラス株式会社（代表取締役：木村 俊、大野一樹、本社：東京都千代田区、以下「モジュラス」といいます）に対して、出資することを決議いたしましたので、お知らせいたします。

モジュラスの資金調達（シリーズ A）に当社は 2 億円を出資します。当社以外では株式会社ファストトラックイニシアティブ、DBJ キャピタル株式会社が投資を予定しています。

平成 29 年 6 月から当社とモジュラスは、これまで開発が難しかった複数の創薬標的タンパク質に対して、当社が PDPS を用いて特殊環状ペプチドのヒット化合物を取得し、モジュラスが計算科学技術を用いてヒット化合物と創薬標的タンパク質を結合させた複合体の結晶構造解析に基づき、低分子医薬品候補化合物をデザインする戦略的創薬共同研究を開始しております。

すでに両社は、ATP 非競合型（アロステリック作用型）キナーゼ阻害剤の候補となるヒットペプチドを数多く同定しており、今後の創薬ターゲット拡大に関する議論を進めております。

モジュラスは、最先端の計算科学を駆使した高速かつ効率的な低分子医薬品候補化合物のデザインに関する技術、およびネットワーク型創薬オペレーションのノウハウを有する会社です。モジュラスは、今回の資金調達によって、当社との共同研究を含む創薬研究基盤をさらに強化し、研究開発チームの人員増強やモジュラスの持つプラットフォームと強力な相乗作用を期待できる企業やアカデミアのパートナーとグローバルな協力関係を構築していくことを計画しています。

【モジュラス株式会社 代表取締役 木村 俊のコメント】

今回の資金調達（シリーズA）を発表できることを大変うれしく思います。ペプチドリーム社との共同研究は当初の想定以上に順調に進んでおり、すでにいくつかの有望なヒットペプチドを特定しています。今回の資金調達により、ペプチドリーム社との共同研究をさらに加速させる当社の開発プラットフォームの拡大強化が期待されます。また、まだ有効な治療が存在しない領域において新たな治療薬をより早く効果的に患者の皆様に向けていくという当社のミッションをさらに推進していけることをうれしく思います。ペプチドリーム社、ファストトラックイニシアティブ社、DBJキャピタル社による今回の出資に感謝致します。

【ペプチドリーム株式会社 代表取締役社長 リード・パトリックのコメント】

当社の重要な戦略的パートナーであるモジュラスを支援する機会となる投資を発表できることをうれしく思います。平成 29 年 6 月に両社は、ヒット化合物を見出す当社の PDPS 技術とモジュラスの計算科学の専門技術を組み合わせることで有望な低分子医薬品候補化合物の獲得を目指す戦略的創薬共同研究をスタートしました。今回の資金調達は共同研究をさらに加速させ、アンメットメディカルニーズの大きな疾患に対して治療薬を開発するという当社の目標達成に貢献するものと考えております。

過去 8 年間に、当社は多くの世界的製薬企業 18 社（米 AMGEN 社、英 AstraZeneca 社、独 Bayer 社、米 Bristol-Myers-Squibb 社、米 Genentech 社、英 GlaxoSmithKline 社、仏 IPSEN 社、米 Janssen 社、米 Lilly 社、Merck & Co., Inc., Kenilworth, N.J., U.S.A.、スイス NOVARTIS 社、仏 Sanofi 社、旭化成ファーマ株式会社、杏林製薬株式会社、塩野義製薬株式会社、第一三共株式会社、田辺三菱製薬株式会社、帝人ファーマ株式会社）との間で創薬共同研究開発契約を結び、戦略的共同研究開発を行ってきました。さらに、米 Bristol-Myers-Squibb 社、スイス NOVARTIS 社、米 Lilly 社、米 Genentech 社、塩野義製薬株式会社及び Merck & Co., Inc., Kenilworth, N.J. に対しては、当社独自の創薬開発プラットフォームシステム：PDPS の非独占的なライセンス許諾（技術ライセンス契約）を実施しております。

【ペプチドリーム株式会社について】

ペプチドリーム株式会社は、「日本発、世界初の新薬を創出し社会に貢献したい」という現会長 窪田 規一と菅 裕明 東京大学大学院教授の共通の夢から、平成 18 年 7 月に設立されました。独自の創薬探索システム PDPS (Peptide Discovery Platform System) を用い、極めて広範囲にわたる特殊ペプチドを多数（数兆種類）合成し高速で評価を可能にすることで、創薬において重要なヒット化合物の創生、リード化合物の選択、もしくはファーマコフォア理解を極めて簡便にしかも効率的に行えるようにしました。これによりペプチドリーム株式会社は特殊ペプチドを用いた創薬企業の世界的なリーダーとして世界中の病気で苦しんでいる人々に画期的新薬を提供することを使命として、研究開発に取り組んでおります。

【本リリースに関するお問い合わせ先】

ペプチドリーム株式会社 IR 広報部 岩田
TEL : 044-223-6612